

保育所民営化に関する事務局の考察

1 公立保育所の民営化による効果・目標について

(1) 待機児童の解消

… 低年齢の待機児童解消のため、公立保育所が新たな人材を確保し、施設改修等を行って体制を整えるよりも、様々な面で柔軟に対応でき、低年齢児保育のノウハウを持つ民間活力を導入して低年齢児保育を実施してもらうのが待機児童の解消に有効である。

(2) 老朽化した施設の整備

… 市内の保育所は最も新しい保育所でも築年数約 40 年となり、最も古い施設では 65 年を経過している。

大規模改修や建替え等を視野に入れなければならないが、市が単独で施設の改修・建替えを行うよりも、民間保育園として国・府の補助金を活用して施設整備する方が、市としての財政的負担が大幅に軽くなる。

2 候補施設の検討

(1) 柏原保育所

① 施設の概要

建築年	園舎延床面積	園庭延べ面積 (うち借地250.00㎡)	認可定員				
			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
昭和24年	478.31㎡	350.00㎡ (うち借地250.00㎡)	3	14	18	25	30

※ 1歳児は4月1日の時点で1歳8か月以上。2歳児と合同保育

② 施設を取り巻く環境等

S40 年に増改築、S48 年に 2 階部分の増築をしているが、市内で基礎部分が最も古い保育所であり、今後大幅な改修が必要になる可能性がある。近接する幼稚園が無く、また、民営化対象とするには全てにおいて狭小な施設である。

部屋数の関係から、1 歳児の定員が 3 名しかなく、4 月 1 日の時点で 1 歳 8 か月以上でないと受け入れできない。

柏原小学校から園庭を借用しており、また、隣接しているため、「柏原中学校区学校施設統合整備事業（仮）」の動向により、大きく影響を受ける。

③ まとめ

現在、2 歳児と合同保育をしているため、1 歳児の定員数が少なく、民営化することで待機児童の解消に有効であり、「柏原中学校区学校施設統合整備事業（仮）」の動向とその場所にもよるが民間法人に土地を提供し、新設してもらう事が、費用対効果があり、可能であれば検討すべきであると考え。

保育所民営化に関する事務局の考察

(2) 円明保育所

① 施設の概要

建築年	園舎延床面積	園庭延べ面積	認可定員				
昭和49年	599.80㎡	550.00㎡	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
			15	24	25	26	30

※ 1歳児は1歳6か月以上

② 施設を取り巻く環境等

入所児童数に対して園庭がそれほど大きくなく、部屋数に余裕もない。

法善寺保育所に次いで入所児童数が多く、入所率は最も高い。

近隣から保護者の車送迎に関する苦情が頻繁にある。

③ まとめ

「柏原中学校区学校施設統合整備事業（仮）」のように代替地候補の可能性があれば良いが、駐車場の問題も含め、大幅な施設改修や近隣土地の買収ありきの民営化となる可能性が高いため、今は検討すべきでないとする。児童数が減少した場合は検討価値あり。

(3) 堅下保育所

① 施設の概要

建築年	園舎延床面積	園庭延べ面積	認可定員				
昭和44年	465.37㎡	450.00㎡	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
			10	24	26	30	30

※ 1歳児は1歳6か月以上

② 施設を取り巻く環境等

入所児童数に対して園庭がそれほど大きくなく、部屋数に余裕もない。

最も待機児童の多い地区ではあるが、法善寺保育所の民営化により、低年齢児の枠が拡大されるため地区の待機児童はある程度解消できる見込。

民家と密接しており、近隣住民からの苦情がしばしばある。

③ まとめ

地区に多数の民間施設がある中で、法善寺保育所に次いで民営化する効果が乏しいと思われるため、今は検討すべきでないとする。